

平成23年度 研究(研修)計画 案

1. 初富小学校の教育目標

豊かななかかわりの中で

たくましく生きる子どもの育成

2. 研究主題

生きる力を育む国語力指導のあり方

《 国語科を通して伸ばす 思考力・判断力・表現力 》

3. 研究主題設定の理由

ことばは、生きて働き行動を生み出す。揺れ動く価値観の時代の今、ことばの機能を通して、しなやかな感性と確かな思考力、そして豊かな創造力を子供達に培うことが必要である。また、今年度から実施される新学習指導要領の中核となる《思考力・判断力・表現力》を未来に生きる力として、児童に身につけさせていくことが学校教育の大きな課題となっている。

昨年度は、国語科を中心に、[コミュニケーション能力]の育成に重点を置き、豊かな人間関係を築ける児童の育成をめざして研究を進めてきた。

今年度は、成果と課題を踏まえ、国語科を中心に、総合的な力である《国語力》という観点から、研究をさらに深めていきたいと考える。そのために、学習者である子どもの側に立った教材研究やことばの力を磨く工夫ある指導を全校で展開し、児童一人一人の可能性を引き出しながら、自己実現を図ることができるような授業改革をめざし、研究研修に努めていきたいと考えている。

4. 研究教科等

* 国語科 (音楽・言語)

・研修年限

1年目 (年計画)

5. 研究推進の具体的方針

① 今年度の重点 * 読解力の指導の研究

ア 学習者の側に立った教材研究

イ 1時間の授業構成のあり方(発問・板書を中心に)

ウ 児童の発言の生かし方(話し合いの構成)

* 今年度は、アは共通、イ・ウは学年(部会)の実態に応じて重点化して取り組む。

② 研究内容および方法

- * 学校・学年でめざす児童像を設定し、具体的な手立てを考え実践する。
- * 事前の教材研究を重視し、学年間交流による系統的指導を図ることができるようにする。
- * 理論研究および実技研修を通して、教師の力量を高める。
- * 実践の交流を行い、共通理解を図ると共に、全校職員で指導にあたる。
- * 研究のまとめとして、『実践の歩み』を作成する。

③ 組織・運営

- * 学年を主体とするが、低・中・高学年部会を必要に応じて開き、協議する。
- * 音楽・言語指導等の担当者は、いずれかの学年に所属し、各指導に研究を生かす。

6. 年間計画 *** 講師の都合により 変更あり**

月	主 な 内 容	行 事 等	形 態	講 師 等
4月	- 研究主題・研究計画・重点等についての検討・決定 - 実態調査・実態把握	家庭訪問	協 議 全体会	
5月	全校・各学年の計画立案 ①めざす児童像と具体的な手立ての検討、授業計画。 ②<u>学年内で授業の見合いをする。</u> [研修 ・教育課程について:新指導要領改訂点]	運動会	協 議 講 義	予 定
6月	[研修 ・心肺蘇生法] - 新採研 [算数]	陸上大会	実技研修 授業研究	予 定
7月	- 授業実践 : 学年・部会 1学期の実践考察	林間学校	授 業	
8月	- 実践のまとめ(学年)→ 2学期の授業実践の計画 [研修 ・国語力について考える] [研修 ・]		協 議 講 義	予 定
9月	2学期の授業実践の準備 - 教材研究 ・単元の構想 他 - 市教委指導訪問 授業案検討 [27日実施] - 授業実践 ()年	新体力 テスト	協 議 授 業 授業研究	
10月	授業実践 ()年 ()年	球技大会 修学旅行	授業研究	予 定

11 月	・ [研修 特別支援教育]	市内音楽会 初小祭	講 義	予 定
12 月	・ 授業実践 ()年 ・ 2学期実践のまとめ		授業研究	予 定
1 月	・ 授業実践 ()年 ()年		授業研究	予 定
2 月	・ 授業実践のまとめ (学年・部会)	児童会役員 選挙		予 定
3 月	・ 来年度の研修・研究について	卒業式	協 議 全体会	

資料① 国語力をどのようにとらえるか。 * 北海道立教育研究所教育開発部 別紙

資料② 読解力向上プログラムの全体像 * 文部科学省 別紙

資料③ 国語科で育む学力

《学習指導要領の目標》

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、
伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、
国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

資料④ 思考力・判断力・表現力と言語の関係に係るイメージ

- ・学習課題を解決しようとするとき、知識・学習経験 さまざまな能力等が必要とされる。
- ・課題解決するために働く思考力、判断力、表現力等には、読解力、論理的思考力、科学的な考力数学的な考え方、想像力等、いろいろな知識や能力があると考ええる。
- ・これらに関係付けたり、引き出したり再構成したりするときに、言語が用いられる。
- ・知識や能力が働き、関わり合い、他者に伝えられることができるような言語化やイメージ化が図られたとき、一つの課題が解決するものと考えられる。